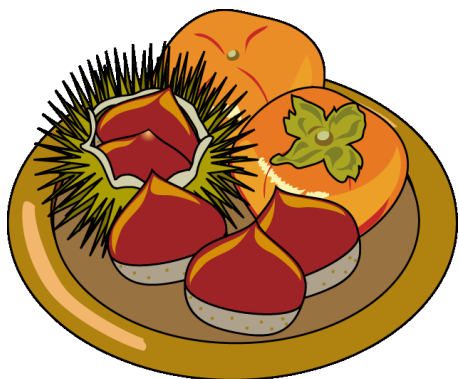


『さいせき・函館』… 20151021号



初雪の便りも聞かれる季節になりました。当社原石運搬路は、落葉で錦の絨毯を敷きつめたが如く休み明けは朝露に濡れて綺麗です。しかし、濁水処理担当者はこれからが落葉と気まぐれな雨に悩まされる事になります。紅葉が色づき始めるのに、日最低気温 8℃以下（広葉樹）が必要で、さらに 5℃以下になると一気に進むとされています。美しい紅葉の条件には「昼夜の気温の差が大きい」「平地より斜面」「空気が汚れていない」「適度な水分」など光合成が行いやすい条件が必要とか。美しくなるのには条件が必要なのですね。人も考えて見ればその様ですね。結婚した二人、男性は新婦が何時までも変わらないでいてほしいと思います。女性は新郎に対して立派になって私を幸せにしてね。と思うそうですが現実には真逆のようで進化するのはいつも女性のように。強く

遅くそして、食欲に究極の美を手に入れようとしています。草食男性は地形が平地になり、女性は時間と共に地形が崩落し、その絶壁に荒々しい枝振りをした針葉樹と広葉樹が岩にしっかりとしがみつき、これでもかと言わんばかりの美を見せてくれます。本当に美しくもあり荒々しい地形にもなっていました……。ひとりごと。

◇北海道砕石協同組合連合会・(一社) 日本砕石協会北海道地方本部の動向

- ①砕石フォーラム 2015 第42回全国砕石技術研究会（盛岡）が、10月15/16日盛岡市ホテルメトロポリタン盛岡本館にて開催されました。総勢400名の参加で北海道から沖縄地方本部理事・会員が集まり盛大に行われました。
- ②『開発建設部設計採算法に関する実態調査』の調査結果について道本部は今後の活動目標の一つとして位置づけており、北海道砂利組合との協同事業として協議検討していく方向でしたが、北海道砂利工業組合は9月15日、札幌第一ホテルで2015年度第4回理事会を開き、公共工事における砂利の積算価格であるゾーン価格を設計する上で、土場渡し価格を採用するよう発注官庁に要望することを決めました。10月上旬にも、北海道開発局や北海道建設部へ要望書を提出する考えの様です。これを受け道本部も同調姿勢を取るとのことです。

◇道南地区砕石協同組合・(一社) 日本砕石協会北海道地方本部函館支部の動向

- ①平成27年度巡回指導が檜山振興局内は、9月7日は今金町の正和運輸(株)様の現場を初日として、渡島総合振興局内を10月8日で全て日程を終了致しました。緑化委員はじめ理事の皆様方には大変に御苦労様でした。総評として渡島振興局の田中指導保安係長から全体的に採取計画の箇所採掘の遅れは有るが、濁水抑制や安全対策等に配慮をしていることが評価できる内容であったとのことでした。今後も各社に於いては、冬季に対する安全対策を考慮して安全操業に努めて頂きたいとの事でした。また、この度、田中係長と一緒に目黒主事が同行されました。函館市出身です。
- ②10月8日会員の親睦会を実施致しました。五稜郭の『あべ』で秋の味覚が感じられる料理を堪能した次第です。また当日、喪が明けていないため不参加された安岡理事から心遣いを頂き、二次会の会費として甘えさせて頂きました。市内宿泊先がいっぱいで会員の方の中には、かなり怪しい所に宿泊された方もいたようです。
- ③10月8日檜山振興局商工労働向井主査より『共立砕石工業(株)の対応について』協会としての考えを問われる連絡を頂きました。先の理事会で協議した共立砕石工業の小林社長の採掘場に対する判断の決定次第で当会としても小林社長に対してアドバイスをする方向ですが、現時点では許可権者の意向と小林社長の動きを静観するに止まるしかない旨を報告致しました。
- ④砕石フォーラム2015に参加させて頂きました。当会からフォーラム参加費と懇親会費を出して頂きました。特別講演では、骨材資源学会会長の岩手大学教授の大塚氏、北海道大学工学研究所教授の名和氏の講演を聴くことが出来ました。大塚教授の講演では震災から4年半未だ19万9千人もの避難民がいる現実と『東日本大震災前後における東北地方の砕石生産状況の変化』と題して、鰻登りに骨材価格が上がって行った状況を知り、自然災害がもたらすインフラ材の重要性を再認識致しました。フォーラム資料については、事務局にお問い合わせ下さい。

協会に対してのご意見、ご要望がありましたら、いつでもご連絡下さい。